

JAPIAシート(JAMAシート後継シート) 初版(Ver.4.00) 仕様

システム関係者向け解説資料

1/10 P9変更しました

11/15追記しました

2019年10月16日

JAPIA 環境対応委員会 製品環境部会
物質調査システム分科会

目次

0. 本文書の目的
1. 【変更点1】BSL変更対応
2. 【変更点2】IMDS由来物質のBSL合致チェック除外
3. 【変更点3】XML出力機能廃止
4. 【変更点4】データ項目名称変更
5. 【変更点5】不使用機能廃止
6. スケジュール
7. ご不明点などへの対応

0. 本文書の目的

本文書は、JAMA/JAPIA統一データシート(以下JAMAシート)最終版(Ver.3.02)を起点とした、JAPIA統一データシート(以下JAPIAシート)の初版(Ver.4.00)の仕様(変更点)をユーザ各社のシステム関係者向けに解説するものです。

【解説】

- ・JAMAシート後継シートの名称は、次の様に決まりました。
正式名称(日): JAPIA統一データシート
正式名称(英): JAPIA Standard Material Datasheet
略称(日): JAPIAシート

【解説】

- ・本資料に記述されていない機能・事項は、原則変更せず継承されます
- ・JAMAシートの仕様解説資料は、現時点でJAPIAが知財権を保有しておらず、公開計画はありません

1. 【変更点1】BSL変更対応 (1/3)

1)BSL変更の概要解説

ID[物質]: JAMAシート: 半角数字 (例 123456789)
JAPIAシート: 半角アルファベット1文字＋半角数字5文字
ワイルドカード物質: 「W」で始まる (例 W00001)
それ以外の物質: 「S」で始まる (例 S00123)

物質名称: 外部リスト中の物質リストには、
JAMAシート: 1つのIDに対して、複数の名称を収載
JAPIAシート: 1つのIDに対して、1つの名称のみを収載

入力事例集で参考イメージを示す [資料](#)

【解説】

BSL: JAPIAシートで選択入力可能な物質のリスト(外部リスト中の物質リストに収載、非公開)

- ・JAMAシートで使用しているIMDS-BSLは、2020年11月末以降は、ライセンスが使用できなくなるため、JAPIAシートでは、BSLをJAPIAが独自に作成・使用する
- ・物質名称は、JAPIAの判断で個々に設定する
- ・ID[物質]は、JAPIAが独自に採番する
- ・JAPIAシートBSLは、2020年5月以降、希望するJAPIA会員に対しては無償で年3回の改正毎に開示する(手続方法は2020年4月予定の説明会で説明する、社内データの変換はこれを使用してください)

【解説】

- ・JAPIA会員以外にはBSLは開示せず、また、原則会員から他社への開示もできません。
- ・BSLは変更しますが、材料リスト(標準材料含む)はID[材料]も含めて変更ありません
- ・BSLには、疑似物質(物質コードが“-”のもの)も含めて、物質調査に必要なものを収載します

1. 【変更点1】BSL変更対応 (2/3)

2) ワイルドカード判定処理の変更

JAMAシート: 化合物コードが「**system**」である場合



JAPIAシート: ID[物質]が「**W**」で始まる場合

【解説】

・ワイルドカード物質を「system」で判別する方法は、IMDS-BSL固有であるため変更する

【解説】

・前頁のリンク先資料に、物質コード欄に本件に関する修正漏れがあり、今回、資料を差し替えました

1. 【変更点1】BSL変更対応 (3/3)

3) 過去データの自動変換機能の追加

- ・エラーチェックの初回(のみ)の先頭で実行する
- ・変換実施／否の選択を行なうチェックボックスは設けない
- ・変換した箇所は、エラーチェック同様に、セル背景色をグレーにする
- ・外部リスト中の変換リストや物質リストに基き、物質名称とID[物質]を置換する

手順1 (CAS RN による対応付け)

手順2 (IDによる対応付け)

手順3 (名称による対応付け)

手順1～3で変換できなかったものはそのままとする

ID[物質]の先頭が数字の行で、3つの手順で変換できなかったものは、値をそのまま残し、警告メッセージを表示し、セル背景色を灰色とする

【解説】

・IMDS-BSLのライセンスが使用できないため、3つの手順で変換する

2. 【変更点2】IMDS由来物質のBSL合致チェック除外

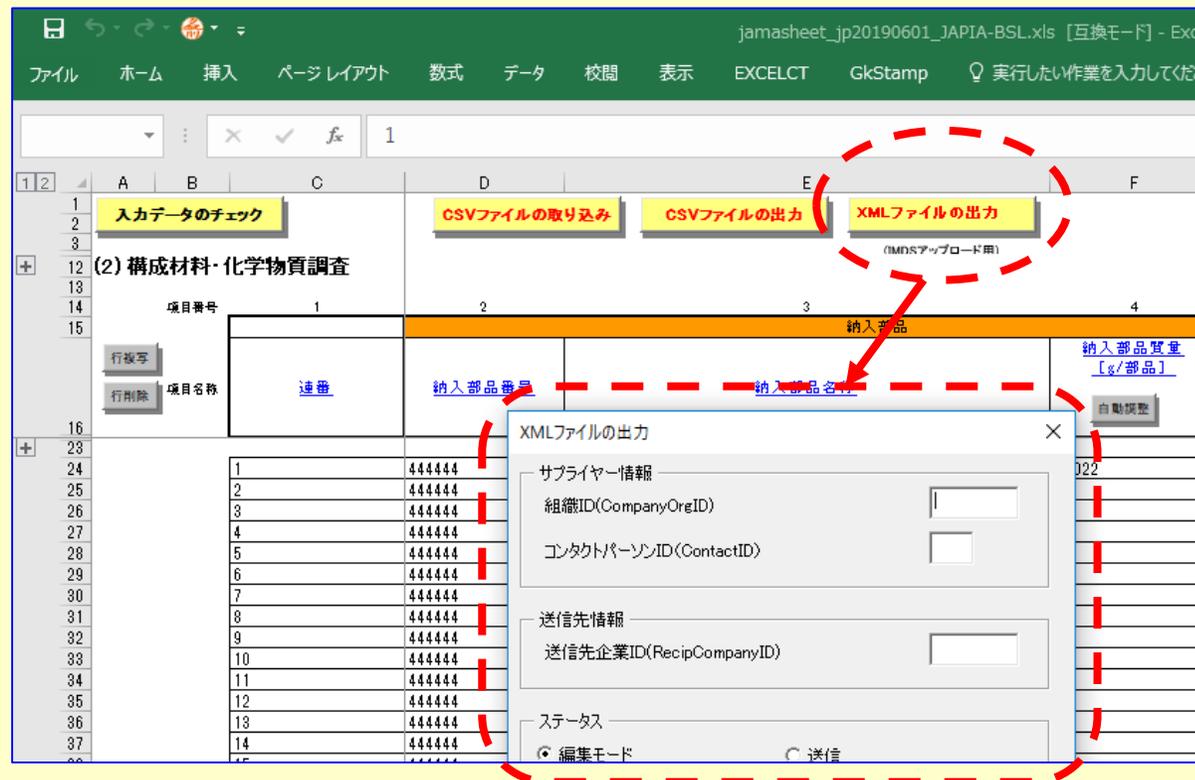
ID[物質]欄のデータの先頭1文字が、アルファベットではないものについては、外部リスト中の物質リストとの合致チェックは実施しない、それ以外のエラーチェックは、現状通り実施する。

【解説】

- ・過去のJAMAシートで作成したデータから、あるいは、IMDS由来のデータから、稀に、JAPIAシートのBSLには収載されていない物質がJAPIAシート上に載った場合への対処として設ける
- ・具体的には、過去データ由来でJAPIAシートBSLで想定していなかった物質や、IMDSに新たに登録されたばかりの物質が該当し、これらは前述「1. 3) 過去データの自動変換機能の追加」で変換されないまま残っている
- ・通常、エラーチェックで、JAPIAシートに収載されていない物質として、不一致のエラーを発生し、それ以降の処理を止めてしまうが、これらの物質も正常に処理を続けられる様にしている
- ・JAPIAシートのBSLは、随時追加申請を受け付ける体制(手順方法は2020年4月予定の説明会で説明する)を取り、年3回の改正のタイミングで反映していくが、その間の時間差を埋めるための機能という位置付け

3. 【変更点3】XML出力機能廃止

XML出力機能を廃止する。



【解説】

- ・IMDS-BSLのライセンスが使用できなくなり、この機能を維持できないため
- ・本機能の代替について: JAPIAシート保守ベンダに自社製品として変換ツールを提供していただけることになっているが、JAPIAは仕様・価格・契約には関与しない(取り次ぎについてはJAPIA事務局まで)

4. 【変更点4】データ項目名称変更 (1/2)

以下のデータ項目の名称を変更し、入力帳票シート、入力要領シート、各種メッセージ、ポップアップ画面の表示など、関連項目の文言も置き換える。

- ・15行名:「化合物」⇒「物質」
- ・No.24:「化合物コード」⇒「物質コード」
- ・No.25:「化合物名称」⇒「物質名称」
- ・No.26:「化合物含有率」⇒「物質含有率」

20	23	24	25	26
化合物				
含有数 整理番号	プロセス ケミカルの 存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物 含有率

- ・No.42:「化合物含有率(最小値)」⇒「物質含有率(最小値)」
- ・No.43:「化合物含有率(最大値)」⇒「物質含有率(最大値)」
- ・No.44:「化合物含有率(残部)」⇒「物質含有率(残部)」
- ・No.45:「Node ID[部品](IMDS管理)」⇒「ID[部品]」
- ・No.46:「Node ID[材料](IMDS管理)」⇒「ID[材料]」
- ・No.47:「Node ID[化合物](IMDS管理)」⇒「ID[物質]」

41	42	43	44	45	46	47	48
部工会オプション							構成材料
調査元 材料記号 もしくは 材料コード	化合物含 有率 (最小値)	化合物含 有率 (最大値)	化合物含 有率 (残部)	Node ID [部品] (IMDS管 理)	Node ID [材料] (IMDS管 理)	Node ID [化合物] (IMDS管 理)	社内材料コ

【解説】

- ・文言の適正化のため
- ・IMDS-BSLとは物質のIDが変わるため
- ・ID[部品]とID[材料]の項目は名称は変わるが、内容と処理方法はJAMAシートと変わらない

4. 【変更点4】データ項目名称変更 (2/2)

～ 続き

- ・No.28:「再生材使用率(工程内リサイクル材)最小値」⇒「**プレコンシューマリサイクル材料の割合** 最小値」
- ・No.29:「再生材使用率(工程内リサイクル材)最大値」⇒「**プレコンシューマリサイクル材料の割合** 最大値」
- ・No.30:「再生材使用率(市場回収材)最小値」⇒「**ポストコンシューマリサイクル材料の割合** 最小値」
- ・No.31:「再生材使用率(市場回収材)最大値」⇒「**ポストコンシューマリサイクル材料の割合** 最大値」

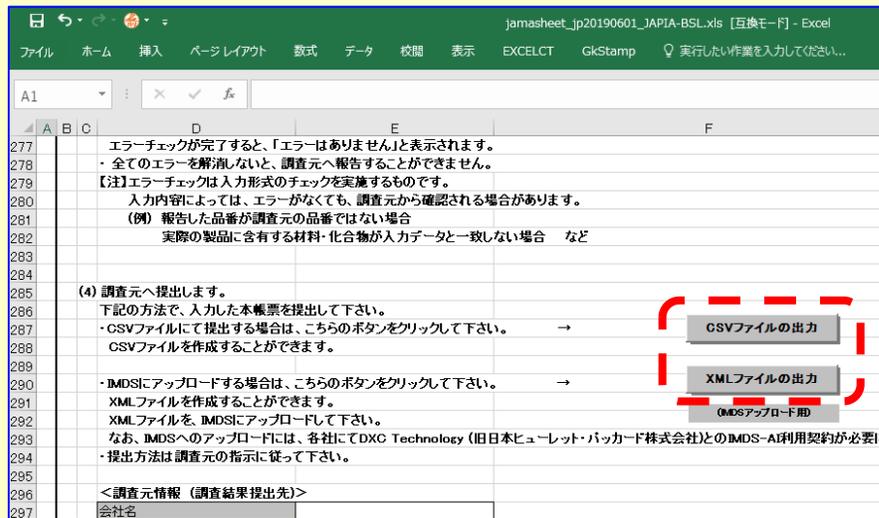
28	29	30	31
リサイクル			
再生材使用率 (工程内リサ イクル材) 最小値	再生材使用率 (工程内リサ イクル材) 最大値	再生材使用率 (市場回収材) 最小値	再生材使用率 (市場回収材) 最大値

【解説】

- ・既に、2012年にIMDSで実施されている変更を反映するため

5. 【変更点5】 不使用機能廃止 (1/2)

- ・表紙シートの2つのボタン「CSVファイルの出力」、「XMLファイルの出力」を廃止する (下左図)
- ・入力帳票シートのボタン「入力保護」を廃止する (下右図)



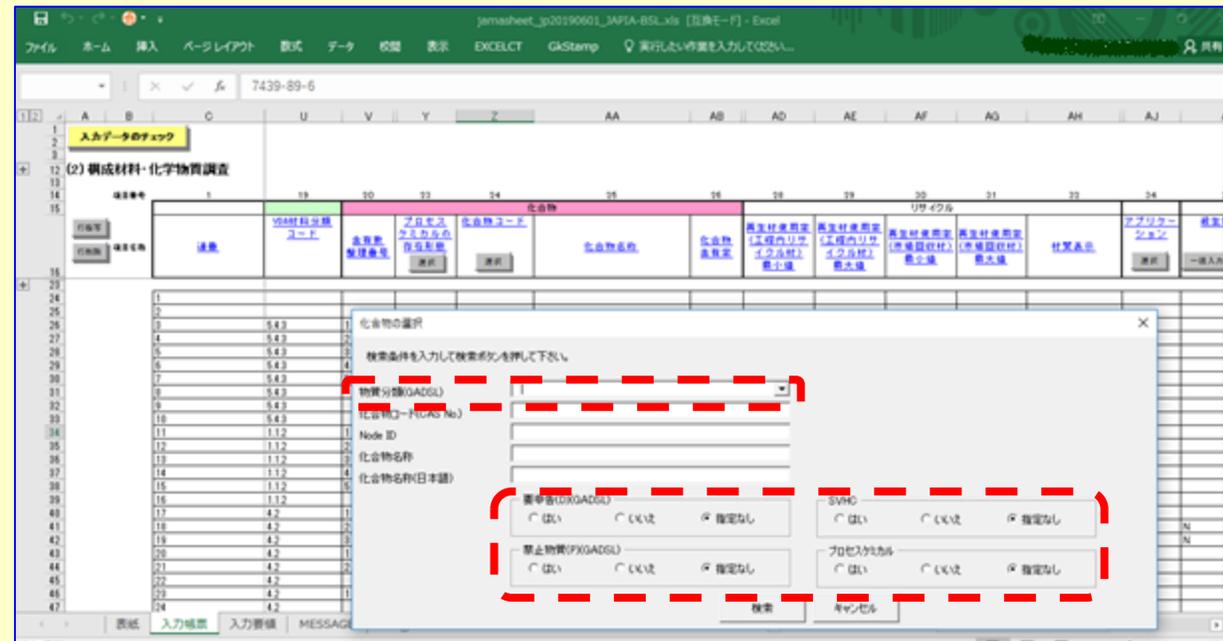
【解説】

・記入帳票の保守工数を低減するため

5. 【変更点5】 不使用機能廃止 (2/2)

～ 続き

- ・化合物の選択画面中、5つの条件設定機能を廃止する
 (「分類番号(GADSL)」、「要申告」、「禁止物質」、「SVHC」、「プロセスケミカル」)



【解説】

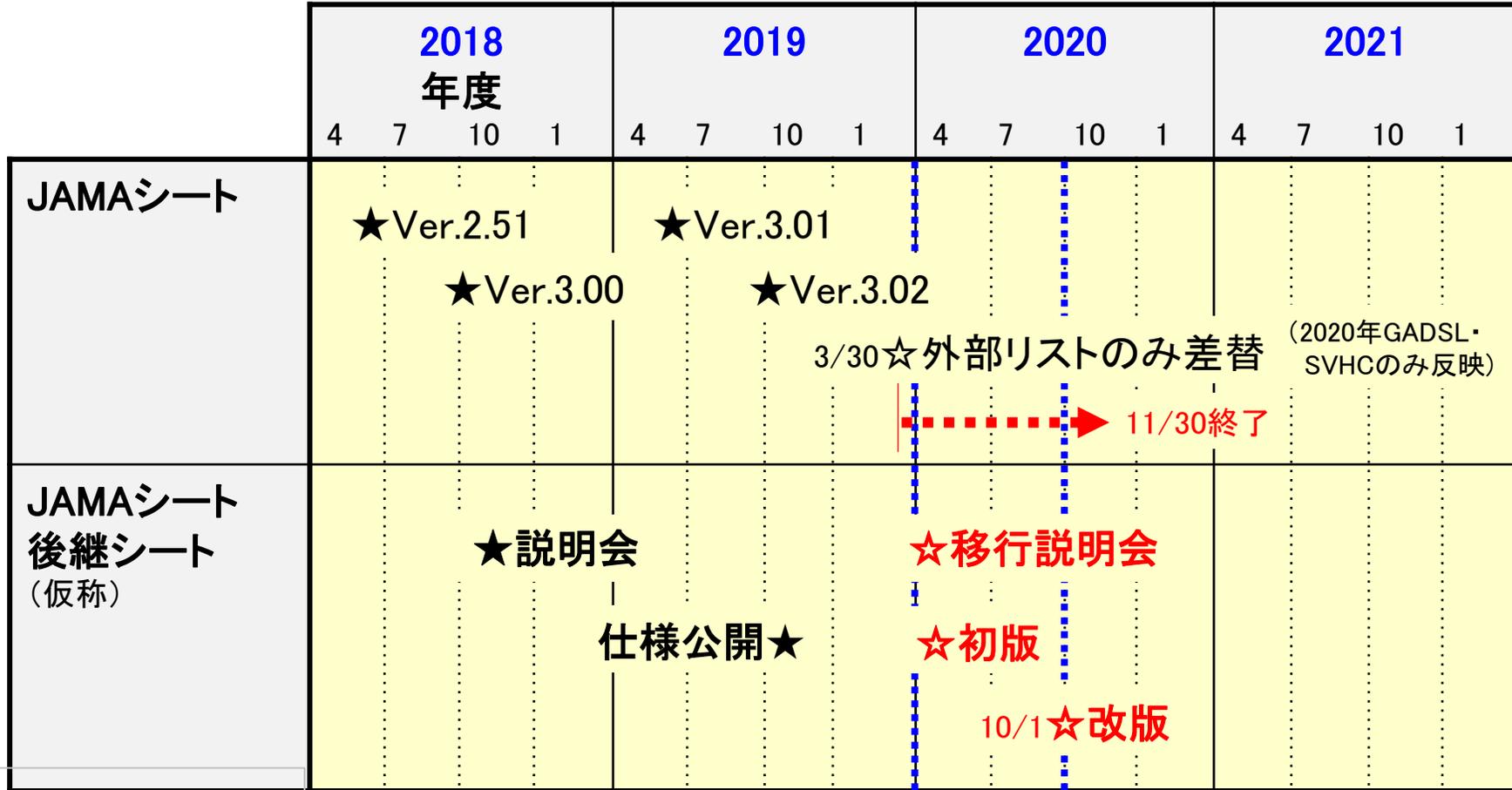
- ・外部リストの保守工数を低減するため

【解説】

- ・入力帳票シート上での物質の色分け表示、斜体表示に影響はありません

6. スケジュール

2018年11月の説明会資料の再掲（進捗状況のみ最新化）



【解説】
 ・2020年10月1日より、JAPIAシートを正式運用する
 ・それまでは、JAMAシートVer.3.02を運用する

【解説】
 ・JAMAシート→JAPIAシートのデータの上位互換性がありますが、
 逆のJAPIAシート→JAMAシートの下位互換性はありません

サプライチェーンに物質調査の障害を生じさせないための
移行準備期間

7. ご不明点などへの対応

本資料の内容および社内システムへの活用等に関して、不明点、質問、ご意見がございましたら、下記「本解説資料に関するQ&A」にご参加ください。

なお、ご参加いただく場合は、下記お申込みURLより登録いただき、不明点、質問、ご意見等をご記入ください。開催場所等必要事項をご連絡いたします。
(本件に関し、JAPIA事務局へお問合せいただいても回答いたしかねますので、ご了承お願いいたします)

・日時: 2020年1月17日(金) 10:00—12:00

・場所: 未定 (東京都内、お申込状況により設定します)

・内容: **本解説資料に関するQ&A** (説明会ではありません)

・申込: <https://www.japia.or.jp/work/kankyou/datasheet/20200117/>
(〆切: 12月13日まで)

・参加費無料
・会員以外も参加可

以上